

令和5年度 障害者スポーツ推進プロジェクト
(障害者スポーツの実施環境の整備等に向けたモデル創出事業)

事業成果報告書

令和6年3月7日

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

令和5年度 障害者スポーツ推進プロジェクト
(障害者スポーツの実施環境の整備等に向けたモデル創出事業)

事業成果報告書

目次

1. 事業の実施期間

委託を受けた日（8月24日）から令和6年3月10日まで

2. 事業趣旨

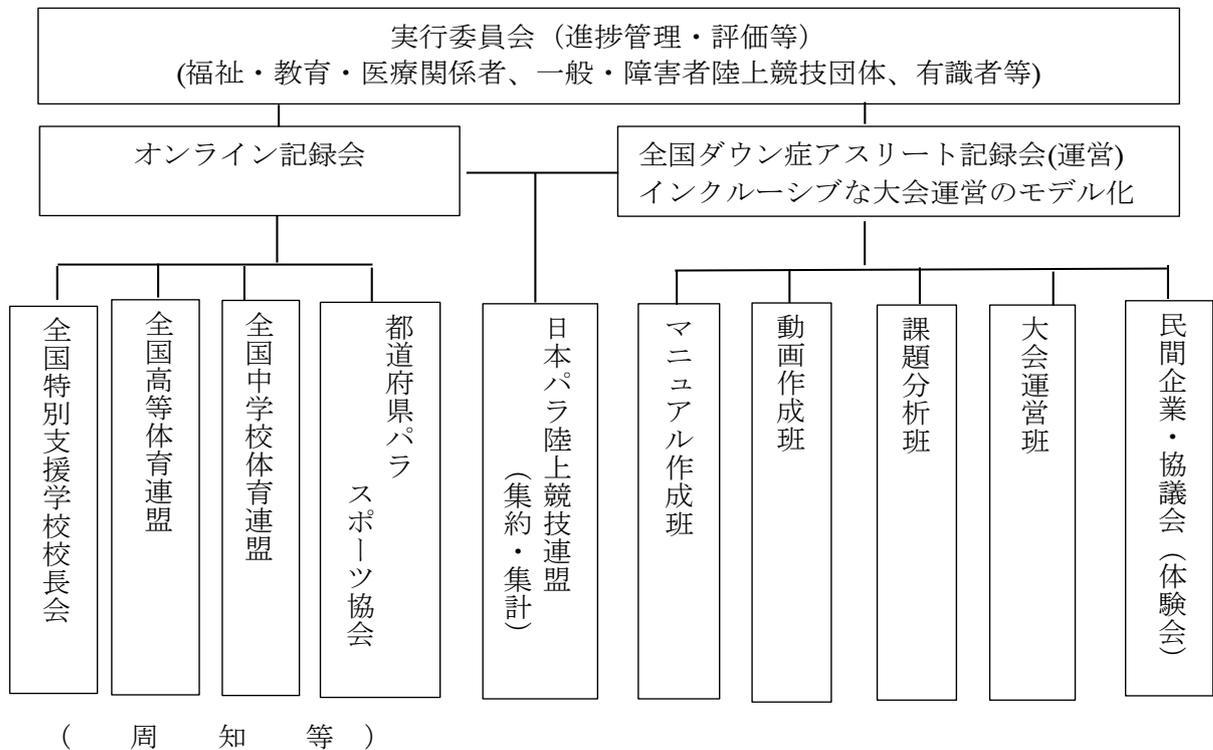
日本知的障がい者陸上競技連盟（2023年度4月に日本パラ陸上競技連盟と統合）は、2019年に初めて国際大会で導入された「ダウン症クラス」を国内で普及・発展することを目的とし、2021年度から「全国ダウン症アスリート記録会」を継続して開催している（2021年度30名、2022年度36名）。記録会は、宮崎県マスターズ陸上記録会と合同で開催した。2022年度からは、本記録会に加え、コロナ禍で県外への移動が困難な知的障がいのある人を対象とした「オンライン記録会（知的障害の部、ダウン症の部）」を実施した。広く周知するため、全国の特別支援学校（約550校）に案内を送付した。オンライン記録会では、体力テストの部、チャレンジの部を設け、陸上競技を行ったことのない生徒も気軽に参加できるよう配慮した。その結果、延べ人数1,463名のエントリーがあった。2年間の事業を通して、参加者の増加、共同開催による経費削減や審判員等のスタッフの確保、他地域でのダウン症のある人を対象とした陸上体験会実施などの成果が得られた。課題としては、記録会のスムーズな運営（障がい者への配慮の仕方やルールの共通理解）、特別支援学校のすべての生徒が参加できるようオンライン記録会の見直し等が挙げられた。知的障がいのある人のスポーツ参加機会を拡充するため、引き続き記録会等の取り組みが必要である。

本事業では

- ① ダウン症クラスの活動の周知、普及・発展を目的とした「全国ダウン症アスリート記録会」の開催、
- ② 障害種別や程度にかかわらず誰もが参加できる「全国特別支援学校及び通常校在籍の支援学級の生徒を対象としたオンライン記録会」の実施、
- ③ 地域の陸上競技協会、障がい者スポーツ指導者協議会、パラスポーツ団体等が連携体制を構築し、継続開催できるインクルーシブな大会運営のモデル化（マニュアルの作成）を図ることにより、障害の有無、障害の種別や程度にかかわらず誰もがスポーツに継続的に参加できる機会を創出する。

3. 事業の実施体制

(1) 本事業の実施体制



(2) 本事業の実施スキーム

実施時期	計画事項			
	実行委員会 ダウン症記録会	マニュアル・動画・アンケート	オンライン記録会	事務関係 報告書等
2023年8月	・実行委員会①8月27日 ・告知方法検討	・アンケート検討	・大会周知	・会議報告書作成
2023年9月	・〆切8日・プログラム作成 ・役割分担検討	・指導動画の改善・動画作成 ・アンケート作成 マニュアル作成作業1回目	・大会周知	・参加者資料作成 ・会計処理
2023年10月		・動画配信・マニュアル編集 マニュアル作成作業2回目	・大会周知	・会計処理
2023年11月	・地域大会調査 ・参加者アンケート分析	・マニュアル完成 アンケート配布 マニュアル作成作業3回目	・オンライン〆切5日 ・集計	・会計報告 ・報告書作成
2023年12月	・報告書作成	・アンケート集計	・域別参加者 確認 ・オンライン表彰	・報告書作成
2024年1月	・実行委員会②	・報告書作成		・報告書作成
2024年2月	成果報告書確認			・各報告書完成

4. 事業の内容

(1) 事業のテーマ

- ・複数の特別支援学校等が参加する全国大会の開催及び運営組織の設置等

(2) 実行委員会

- ・実行委員会は、一般・障害者の陸上競技団体、障害者関係団体、医療関係者、有識者等と連携し、本事業の進捗管理・評価等を行う。

次年度以降の開催地の検討等を行うことを目的として実施する。

回数は、2回とする。

※全国特別支援学校校長会、全国高校体育連盟等、日本パラスポーツ協会等メール等で共有、意見等を伺い報告書等提出し、連携を図る。

(3) 事業の実施内容

①全国ダウン症アスリート記録会の開催

- ・開催日：2023年10月1日 ・場所：日南市日南総合運動公園 ・対象：ダウン症のある人
- ・参加種目：【公式の部】100m、200m、400m、走幅跳、やり投、砲丸投

【オープン】60m、ジャベリックスロー

- ・実施体制：宮崎県マスターズ陸上記録会と合同開催

大会運営サポート→パラスポーツ指導員、パラスポーツ体験

②2023 全国オンライン記録会（特別支援学校、支援学級、各種学校）

- ・期間：2023年4月1日～2023年10月31日迄の記録
- ・入力切：2023年11月5日20時
- ・カテゴリー：男女別 4障がい種 チャレンジ 3部門
チャレンジ・体カテスト
- ・種目（チャレンジ）100m、200m、400m、1500m、砲丸投、やり投、走幅跳
（体カテスト）50m走 立ち幅とび ソフトボール投げ（小学生）
ハンドボール投げ（中学生以上）
- ・参加資格（体カテスト）新体カテスト参加可能な者
（チャレンジ）各種大会の競技規程に準ずる。
- ・ランキング方法 カテゴリー別の「記録ベスト10位」を本連盟 HP に公開。

5. 事業の成果

(1) 評価指標および目標

- ・本事業（ダウン症記録会及びオンライン記録会）で実施した大会への参加校数並びに児童及び生徒の数

昨年度との比較訳	公式の部 18名→26名	オープンの部 18名→26名
	小女 2名→3名 中女 1名→2名 中男 8名→3名 高男 4名→7名 一般男 2名→5名 一般女 1名→3名 【新規】小男 3名	小女 2名→2名 小男 7名→11名 中女 1名→0 中男 4名→4名 高男 1名→2名 一般男 3名→6名 【新規】一般女 1名

オンライン記録会

昨年度との比較訳	体カテストの部 (延べ人数エントリー1230名→1114名)	チャレンジの部 延べ人数エントリー195名→115名
----------	-----------------------------------	-------------------------------

・本事業（ダウン症記録会及びオンライン記録会）で実施した大会へ参加した選手の地域数

九州・沖縄	宮崎県立みなみのかげ支援学校 宮崎県立延岡しろやま支援学校 宮崎県立みやざき中央支援学校 宮崎県立都城きりしま支援学校 宮崎県立日南くろしお支援学校 福岡市立照葉北小学校 アスラン 唐津陸上クラブ COCORO ハッピーコーポレーション チャレンジアスリート宮崎 長崎県立島原特別支援学校 熊本県立ひのくに高等支援学校	宮崎県立みなみのかげ支援学校 宮崎県立延岡しろやま支援学校 宮崎県立みやざき中央支援学校 宮崎県立都城きりしま支援学校 八代市立八代支援学校 佐賀県立伊万里特別支援学校 延岡市立伊形小学校 三股町立三股小学校 美郷町立西郷義務教育学校 都城市立安久小学校 じょいわーくす ダウン症協会宮崎支部
中国	SON 島根 スペシャルオリンピックス広島	愛媛県立松山盲学校 鳥取県立米子養護学校 島根県浜田養護学校
近畿中部	宝塚市立御殿山中学校 堺市立南八下小学校 チームみえりく ホープスポーツクラブ 北中島小学校 ID 愛知 愛知県立いなざわ特別支援学校 岐阜県立下呂特別支援学校 岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校 国立信州大学教育学部附属特別支援学校	静岡県立浜松みをつくし特別支援学校 静岡県立沼津特別支援学校 京都府立南山城支援学校 岐阜県立中濃特別支援学校 国立信州大学教育学部附属特別支援学校 石川県立明和特別支援学校 石川県立七尾特別支援学校珠洲分校 長野県立伊那養護学校
関東	チームはやぶさ 群馬県立吾妻特別支援学校	群馬県立前橋市立前橋特別支援学校 千葉県立特別支援学校流山高等学園 千葉県立特別支援学校市川大野高等学園
北海道・東北	幌延町立幌延中学校陸上部 宮城県立視覚支援学校	岩手県立盛岡視覚支援学校
内訳	公式の部 26名 小女 3名 小男 3名 中女 2名 中男 3名 高男 7名 一般男 5名 一般女 3名	オープンの部 26名 小女 2名 小男 11名 中男 4名 高男 2名 一般男 6名 一般女 1名
地域	体力テストの部 延べ人数エントリー1114名 小学生 161名中学生 216名高校生 737名	チャレンジの部 延べ人数エントリー 115名 視覚 9名 知的 102名 ダウン症 4名

目標

- ・全国ダウン症アスリート記録会（36名→40名）→52名参加（目標達成）
- ・オンライン記録会（延べ人数1,460名→1,800人）→1229名エントリー
- ・各地域ブロックに在籍する日本パラ陸上競技連盟のスタッフを中心にダウン症のある人が、陸上競技大会・練習動画を配信し、指導者（学校職員、保護者、パラスポーツ指導員）が指導しやすい体制を支援する。

動画視聴（500回再生）→9本動画視聴（計730回再生）※目標達成

ダウン症アスリートの練習動画 股関節編 92 回視聴・2 か月前	ダウン症アスリートの練習動画 首 周りストレッチ編 54 回視聴・2 か月前	ダウン症アスリートの練習動画 首 周り編 53 回視聴・2 か月前	ダウン症アスリートの練習動画 足 跳び編 88 回視聴・2 か月前	ダウン症アスリートの練習動画 幅 跳び編 88 回視聴・2 か月前
ダウン症アスリートの練習動画 競歩編 68 回視聴・2 か月前	ダウン症アスリートの練習動画 やり投げ編 36 回視聴・2 か月前	ダウン症アスリートの練習動画 ス タートブロック編 224 回視聴・2 か月前	ダウン症アスリートの練習動画 カ ーブの走り方編 115 回視聴・2 か月前	ダウン症アスリートの練習動画 ス タートの仕方編 292 回視聴・2 か月前

- ・宮崎マスターズ陸上競技記録会と合同開催を実施し、「見る」観客を増やし、「支える」スポーツナースの役割検討や、障がい者スポーツの理解促進を図る。(マスターズ合同開催で、観客 200 人目標)
→宮崎マスターズ陸上競技記録会、小学生クラブチーム対抗記録会等を実施し、200 名を超える観客があった。

(2) 結果と考察

今回で 3 回目の大会であったが、年々参加者が増えるとともに、ダウン症記録会及び、オンライン記録会は成果が出たといえる。また、ダウン症アスリートのスポーツ参加についても、日本ダウン症協会、看護師会、医師等の協力により、参加しやすい環境が整ってきたこと(申請方法、診断書の記載方法等)は、大きな成果といえる。この内容を、3 年間開催してきた宮崎県以外にどのように展開していくかについては、各都道府県陸上競技協会との連携が不可欠である。

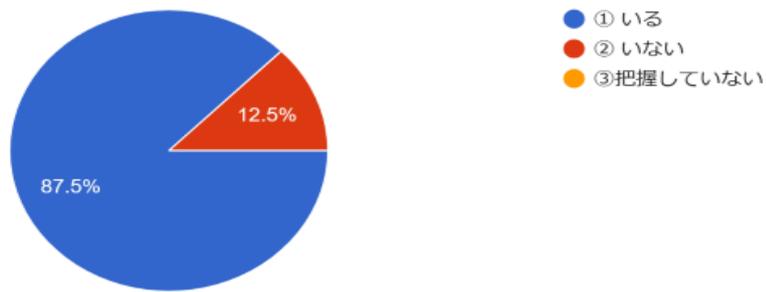
本事業では、47 都道府県の陸上競技協会を対象としたアンケート調査を行い、32 都道府県から回答を得た。その結果、各地域、障がいのある方の陸上競技の参加について、理解はあるが、まだハード面や、ルール理解、受け入れ態勢などに課題があることが明らかになった。そのため、本大会の開催に向けた、基盤づくり(選手登録、ルール理解、環境整備)が重要である。この基盤を整えてから、大会開催の依頼をすることにより、障害の理解、ルールの理解等の不安を取り除き、関係団体が連携して取り組めると考えられる。また、ダウン症アスリートのスポーツ参加については、知ってもらうことが重要であり、事前のスポーツ教室や選手の参加について保護者や特別支援学校等と連携した丁寧な説明が求められる。

6. 今後の事業展開予定

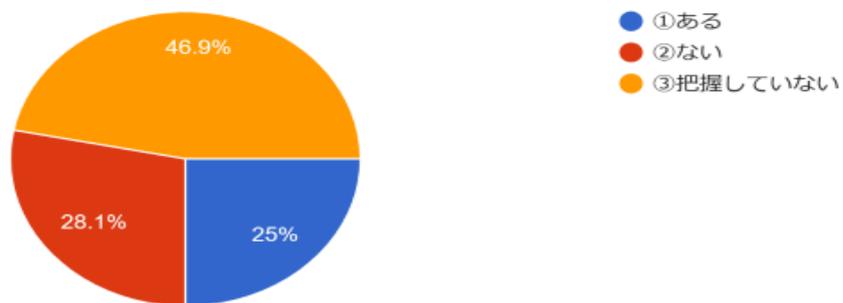
(1) 事業継続や横展開に向けたポイント、課題

- ・全国特別支援学校校長会の HP からの大会案内等、新たな取り組みとして実施。
事業継続(宮崎県)や横展開(47 都道府県)にむけたポイントについて、他県での大会受け入れが可能か、障がい者陸上大会運営に関するアンケートを実施。
「都道府県陸上競技協会の、障がい者陸上競技の受け入れ態勢について」47 都道府県陸上競技協会へのアンケート集計

質問1 貴団体の役員に、障がい者スポーツ関係者...→障がい者陸上大会の運営にかかわっているなど
32件の回答



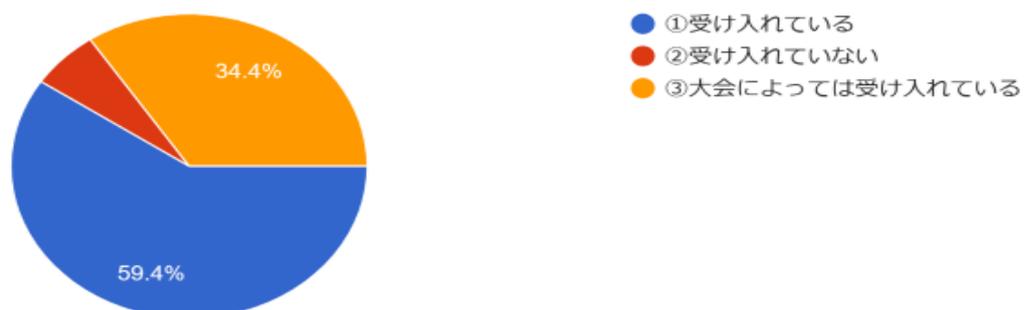
質問2 貴団体の都道府県には、特別支援学校体育連盟（特体連）がありますか。
32件の回答



質問3 貴団体では、障がいのある人の登録を受け付けていますか。
32件の回答

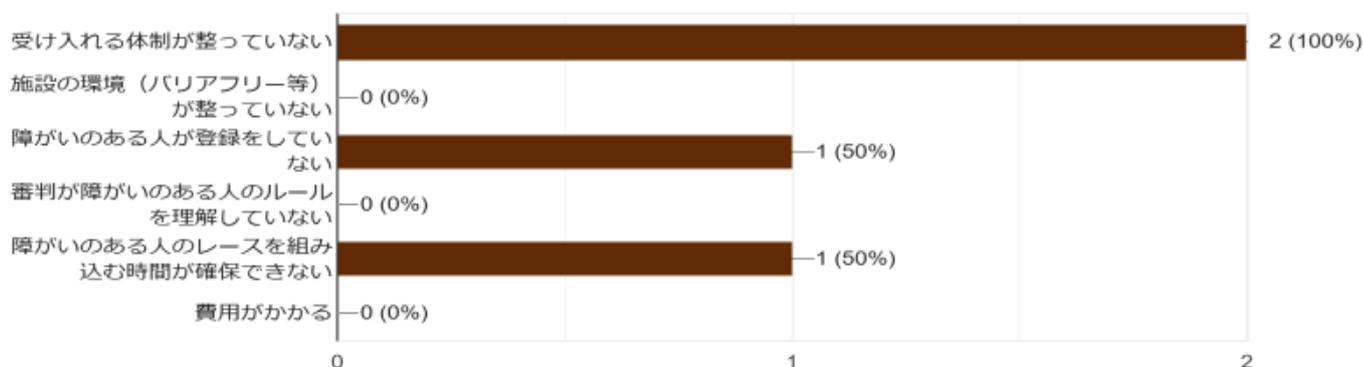


質問4 貴団体の主管大会に於いて、障がいのある人の参加を受け入れていますか。
32件の回答



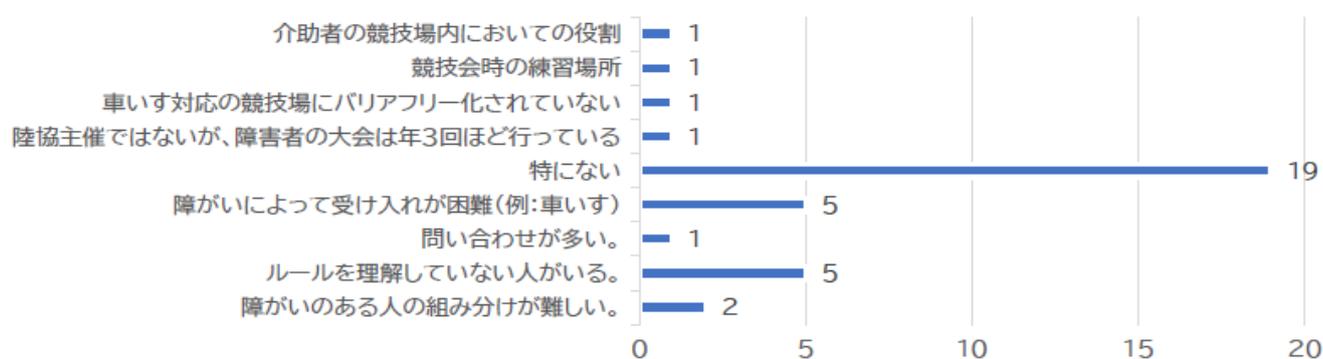
受け入れていない理由についてお聞かせください。（複数回答可）

2件の回答



質問5 障がいのある人を受け入れたことにより困ったことはありますか。（複数回答可）

30件の回答



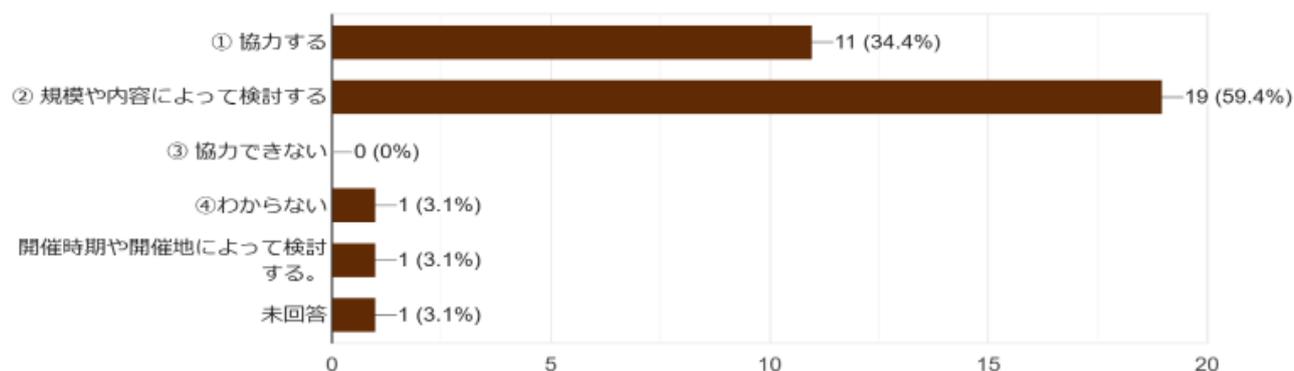
質問6 障がいのある人が参加できる大会名を教えてください。

30件の回答

(省略)

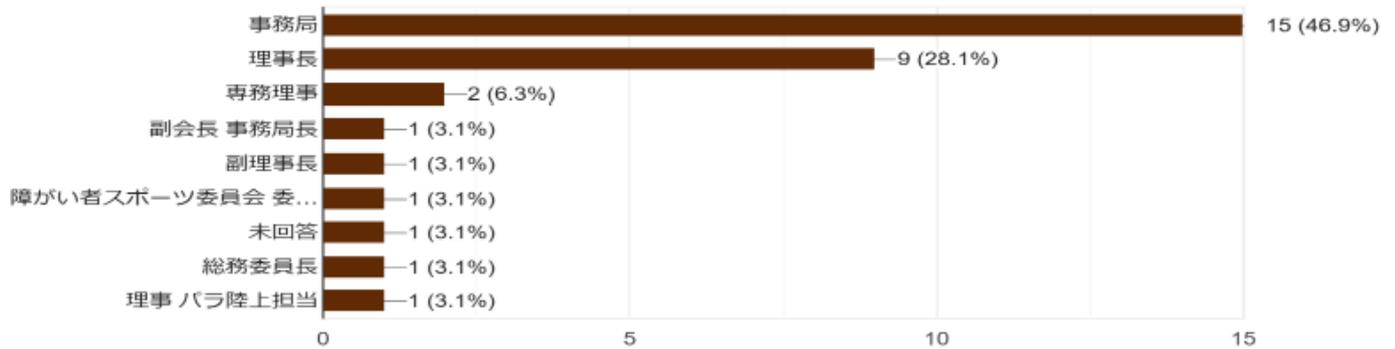
質問8 今後、障がい者陸上大会等の開催依頼があった場合は、協力していただけますか。

32件の回答



回答者の役職を教えてください。

32件の回答



質問10

障がいの有無にかかわらず、誰もが陸上競技を行うためには、どのようなことが必要(ハード面・ソフト面)だと思いますか。ご意見等をお聞かせください。

17件の回答

(一部抜粋)

【施設・ハード面関係】

- 競技場の施設整備面 (3)
- 大会用の用具が高額 使用方法が未熟 対象者への対応
- 使いやすい競技場 (使用料が安い、使用危惧が整備されていること)
- 競技場の老朽化により競技者のニーズに応える設備がなく改善を希望している。
- スタジアムのバリアフリー化 バリアフリーな都市計画インフラ整備など
- 管理者、陸上競技関係者、審判員等に関わる全ての物、人、おいてのユニバーサルデザイン

【ルール等】

- パラ競技として以外の通常陸上ルールで協議をおこなっても十分参加可能な選手はいるが、それ以外の選手の受け入れを通常競技者と同じレベルでおこなうには、受け入れ審判や一部ハード面の課題もある。
- 選手・審判のお互いの努力 (ルール通りに競技する努力、ルールと配慮を混合する努力)
- カテゴリーが多いので競技運営に支障がないようにスキルを審判員に普及させることが重要であり、NT05名を中心に周知を図っている。NT0の確保が重要
- 競技会では、同じ組で競技ができるよう配慮する。

【人的課題】

- 指導者 (コーチの要請と、補助金などの制度が必要である。
- 運営スタッフの理解とボランティアの参加がいつでもできる協力体制
- 住居近くにクラブチームなどがあり、練習場所を含めた練習環境が整っていること。
- 関係団体の連携 情報共有

【理解・財源・その他】

- 競技場の整備 障がい者に関わる関係者の理解と協力
- 障がいスポーツへの理解
- パラ陸上の魅力を健常者にアピールする。
- 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟と日本陸連の一体化 (2)
- パラリンピック 日本パラ選手権 ジャパンパラ 障がい者大会など選考方法や参加基準がわかりにくい

純粹にチャンピオンシップスポーツとしてなら協力しやすい。

- 全国レベルの大会を数回開催。
- 競技役員やスタッフの確保。
- 陸上競技協会関係者の意識改革が最も必要。
- 大会参加の周知。
- 受け入れ可能な施設・用具・人材、それを確保できる財源。
- 競技時間の確保。
- 講習会などには、制限を設けず誰もが参加できるようにする。

(2) 次年度以降の事業継続、横展開の計画

他県開催に向けて、大会実施の前に、ルール理解や、安全面の配慮（共通理解）から、記録会の前段階である、陸上教室の実施が重要。選手のニーズや、大会開催に向け、いきなり、大会を実施するのではなく、前年度に記録会、陸上教室の土台を作ってから、地域開催という段取りが重要と感じた。

宮崎県の場合、15年前から宮崎陸協主催の障がい者メインの大会「チャレンジアスリート記録会」の実施、宮崎県高校体育連盟主催の高校総合体育大会、新人戦にダウン症アスリートが継続的に参加しており、10年以上の基盤があったからこそ、「全国ダウン症アスリート記録会」がスムーズに実施できた。

それに対し、他県の関係者理解については、障がい者の陸上競技記録会を実施するためには、ルールの共通理解、運営体制の基盤づくりから進めていくことが、継続的かつスムーズな大会運営であることが分かった。そのためには、いきなり大会実施をするのではなく、陸上教室の開催、選手関係者への競技会へのルール理解も重要な要素となった。

次年度については、10月に東京都世田谷で、ダウン症陸上教室及び、記録会の実施。また、ダウン症陸上教室は、（東京都、静岡、愛知）でも開催する。

ダウン症アスリートの記録会については、2024年4月愛知県、10月愛媛県、福島県の3会場でダウン症クラスの大会を実施。

選手のアンケートから、宮崎県継続開催の要望も多い点、競技運営や、審判派遣等低コストでの、自主運営が可能なことから、自走に向けた大会を2024年9月に健常者の大会と合同開催で実施する。

いろいろな地域でダウン症の選手が大会参加可能です

- 2024年大会 ★日本パラ陸上登録が必要 ☆連盟登録がなくてもオープン種目のみ参加OK
- 4月21日 愛知パラ（愛知）★
 - 9月 1日 チャレンジアスリート記録会（宮崎）等 ★
 - 9月 8日 中国、四国パラ（愛媛）☆
 - 9月21日 宮崎県記録会（ダウン症クラス）☆
 - 10月5, 6日 北海道 東北パラ（福島）★☆
 - 10月12,13日 NAGASEカップ（東京：国立）★
 - 10月19, 20日ID日本選手権（愛媛：松山）★☆
 - 10月19日ダウン症を対象にした陸上教室（東京レガシーハーフマラソン大会後教室開催：国立）☆

2024年度予定大会については

日本パラ陸上競技連盟ホームページをご覧ください

<https://para-ath.org/>



- ・全国ダウン症記録会の前日に宮崎陸上競技協会の審判員に対し、審判講習会を実施。9月30日実施

スポーツ庁委託事業

パラスポーツ陸上競技審判講習会～障がい者スポーツ陸上競技初級編～

1 目的 ○ 競技役員の資質向上を図る。
○ 翌日日南市で開催される全国ダウン症アスリート陸上競技記録会に向けて、事前に知識を得ることにより記録会の円滑な運営につなげる。

2 日時 令和5年9月30日(土) 16:45～17:45(60分)を予定

3 場所 宮崎市生目の杜運動公園 体育館 会議室
オンライン参加希望者は事前にGoogleフォームで申し込みください。
https://docs.google.com/forms/d/16O003CKSM6p6_z2hbrTFICYzAR5m95aiHb8agEUQQ0/edit

4 対象者と予定人数(参加費無料) 【対象者】・障害者スポーツ(陸上競技)に関わる者(これから挑戦したい方)

5 講師と講義内容
「全国大会参加に向け、予想されるダウン症選手や・パラスポーツの参加について」
(グローバル大会や、世界パラ選手権等国際大会の様子等)
講師：パラNTO 柴田 達也(愛知)

問い合わせ先 日本パラ陸上競技連盟 奥松美恵子 電話：090-5388-1309 haipaokumatsu2022@gmail.com



自走に向けた予算案

収入	自走に向けて			
	2021年	2022年	2023年	2024年
科目	金額	金額	金額	金額
事業委託費	¥2,849,687	¥3,257,938	¥2,781,664	¥0
宮崎県内協賛金収入	¥351,500	¥436,260	¥425,000	¥285,000
入場料収入	¥0	¥0	¥0	
参加料収入	¥0	¥0	¥74,440	¥75,000
自己負担金(連盟負担)	¥0	¥378,316		¥90,000
合計	¥3,201,187	¥4,072,514	¥3,281,064	¥450,000
支出				
科目	金額	金額	金額	金額
人件費	¥165,091	¥849,970	¥1,128,600	¥0
諸謝金	¥874,000	¥774,000	¥378,000	¥215,000
旅費(交通費)	¥850,390	¥866,652	¥489,756	¥0
旅費(宿泊費)	¥264,880	¥104,500	¥99,000	¥0
借料及び損料	¥14,517	¥14,517	¥20,000	¥0
印刷製本費	¥174,350	¥206,800	¥208,120	¥53,000
通信運搬費	¥121,889	¥19,090	¥92,046	¥0
スポーツ用具費	¥22,229	¥17,718	¥39,391	¥20,000
雑役務費	¥29,480	¥22,660	¥317,367	¥67,000
保険料	¥19,992	¥18,228	¥9,384	¥15,000
消耗品費	¥183,500	¥149,428	¥84,030	¥80,000
雑役務費	¥168,000	¥129,800	¥58,660	¥0
その他	¥312,869	¥899,151	¥226,910	¥0
総計	¥3,201,187	¥4,072,514	¥3,281,064	¥450,000

全国特別支援学校オンライン記録会集計一覧

2023全国特別支援学校オンライン記録会優秀校【体カテストの部・チャレンジの部】							
2023全国特別支援学校オンライン記録会【体カテストの部】			エントリー総数		1229		
順位	成績優秀校	指導者	チャレンジの部		体カテストの部		
			種目	視覚	知的	ダウン症	総数
1	千葉県立特別支援学校流山高等学園	早川 聡 太	100m	3	41	1	45
2	宮崎県立みなみのかぜ支援学校	太田 裕 輝	200m		20	1	21
3	静岡県立沼津特別支援学校	廣瀬 悦子 渡邊 尚子	400m		15		15
4	島根県立浜田養護学校	山口 操	1500m	1	18		19
5	千葉県立特別支援学校市川大野高等学園	中村 文 弥	砲丸投	1	3		4
			やり投		1		1
			走幅跳	4	3	1	8
			50m走		1	1	2
			総数	9	102	4	115

体カテストの部				
高校生				
種目	知的	ダウン症	総数	
立幅跳	311	1	312	
50m走	333	2	335	
ハンドボール投	89	1	90	
総数	733	4	737	

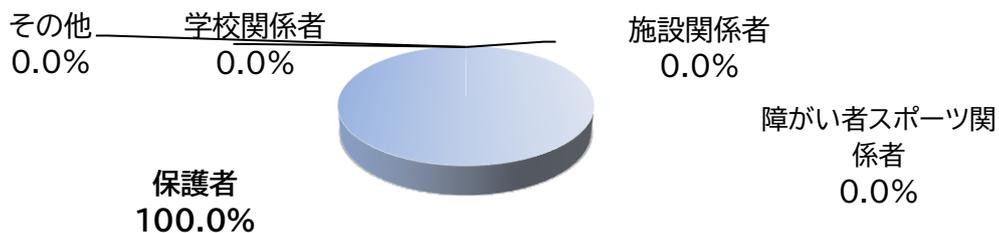
中学生				
種目	知的	ダウン症	総数	
立幅跳	52	5	57	
50m走	52	7	59	
ソフトボール投	84	16	100	
総数	188	28	216	

小学生				
種目	知的	ダウン症	視覚	総数
立幅	40	15	4	59
50m走	33	10	4	47
ソフトボール投	36	15	4	55
総数	109	40	12	161

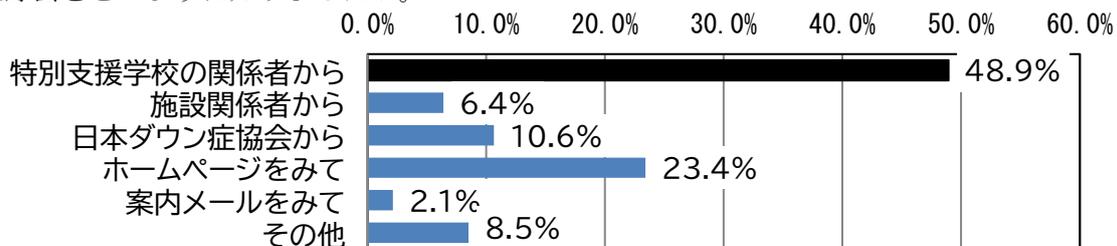
全国特別支援学校IDオンライン記録会2022（チャレンジの部）		
順位	成績優秀校	指導者
1	岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校	吉 田 徹
2	千葉県立特別支援学校流山高等学園	早川 聡 太
3	千葉県立特別支援学校市川大野高等学園	村 木 友 香
4	石川県立明和特別支援学校	小 西 夏
5	長野県立伊那養護学校	松村 優子

参加者アンケート

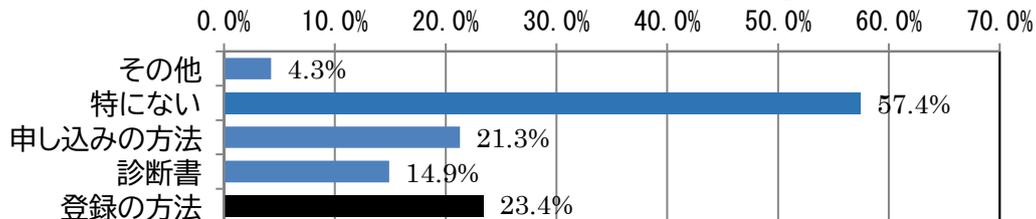
【問1】アンケート支援者（記入者）について



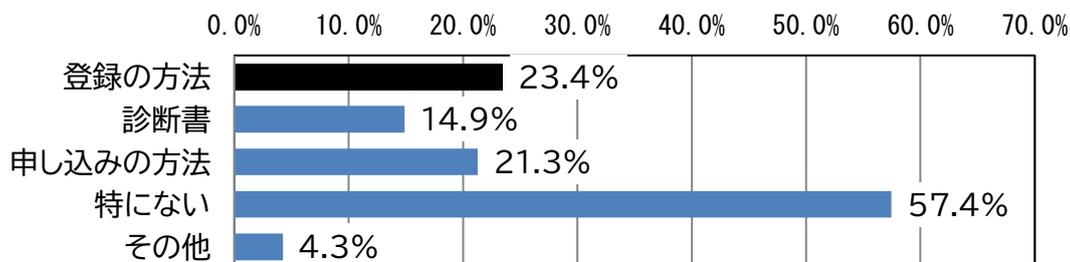
【問2】記録会をどのように知りましたか。



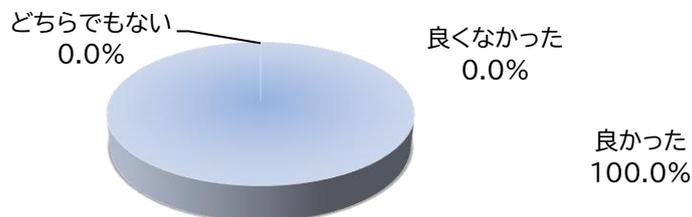
【問3】エントリーの時に大変だったことはありませんでしたか。 ※○はいくつでも



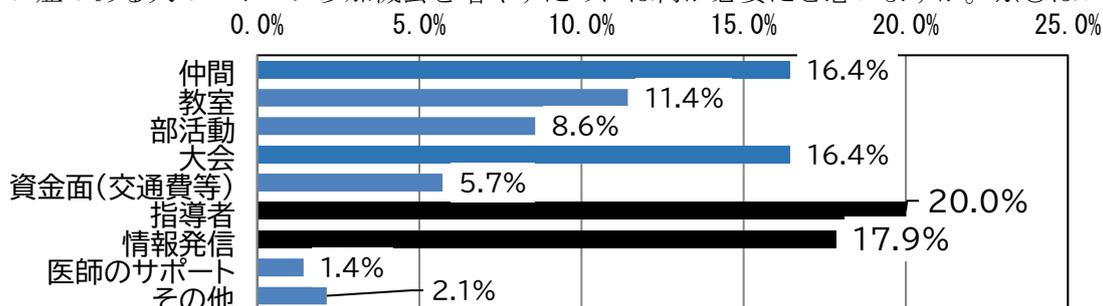
【問3】エントリーの時に大変だったことはありませんでしたか。 ※○はいくつでも



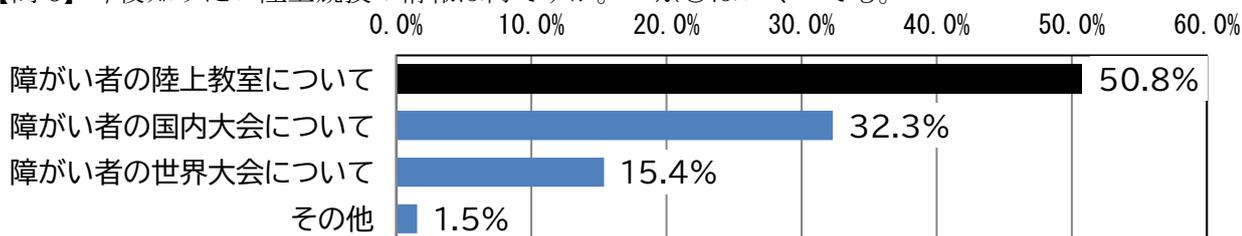
【問4】記録会に参加していかがでしたか。



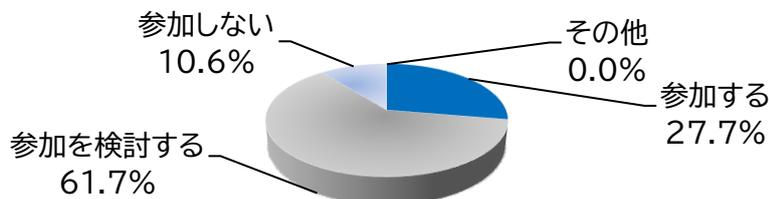
【問5】ダウン症のある人のスポーツ参加機会を増やすためには何が必要だと思いますか。※○はいくつでも。



【問6】今後知りたい陸上競技の情報は何ですか。 ※○はいくつでも。



【問7】本記録会を宮崎県以外で開催した場合、参加しますか。



【問8】記録会に参加しての感想を記入してください。

- タイムスケジュールがタイトで次の種目の準備をする時間がなくて大変でした。だんだんレベルが上がってきているのを肌で感じています。ありがとうございました。
- もっと多くの参加者が増えて宮崎がダウン症アスリート（スポーツ全般）の聖地となればいいと大きく夢を語る・・・中央ばかりではなく地方でも中央と同じことができるように・・・
- 同じカテゴリーでの大会は活躍できる場所ができてありがたいです。
- "招集方法 招集からスタート地点の移動 招集後は種目枚に分かれて座り（種目ができるようにカードなどがあるとよい）スタート地点までの移動がスムーズになるようにした方がよい。
- 招集係、スタート係、通常の陸上大会とは違う工夫が必要だと思いました。名前、ナンバーカード読み上げで

は、出場者本人がなかなか理解でいけません。

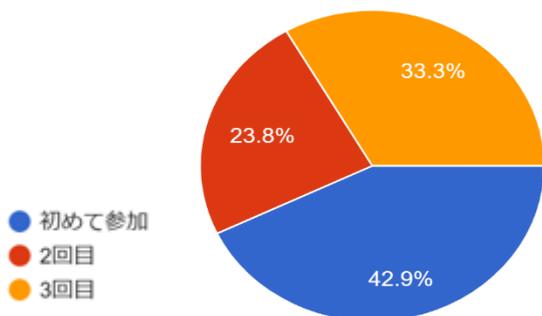
- 今回、北海道より参加させていただきました。道内はこのような機会はなく、遠路はるばる参加させていただきました本人が今後どのように陸上を考えるか楽しみです。ありがとうございます。
- 初めてで、緊張しましたが、サポートの方がたくさんいらしたので安心して参加できた。
- 頑張っていたり、小さくてかわいい子どもたちだったり毎回いろいろな年齢や発達の違いの人たちのすてきな姿を見ることができて心を揺さぶられます。
- 100mのスターブロックのセット。左右が逆にセットされていた。本人が伝えられないので用紙で確認いただけるとありがたいです。
- 100mと400mにエントリーしていましたが、タイムスケジュール上、100mのあとすぐに400mだったので100mを棄権しました。申し込みの前にタイムスケジュールを公表してほしいです。
- 自己記録更新を目標に。大会前は体力づくりをしています。こういう機会があるからこそ、運動を少しずつでも続けられています。本当にありがたいです。ありがとうございます。
- やりと100mが重なり100mが走れなくて残念でした。お世話になりました。ありがとうございます。
- 初めて参加しました。ダウン症の方たちの活動できる場を作っていただきありがとうございます。
- サポートしてくださる方が多く、気持ちよく参加できました。ありがとうございます。この大会があるおかげで子どもにいろんな競技を経験させてあげられて、可能性をみれて本当にありがたいです。
- ダウン症のスポーツに接する機会が増えてよいと思います。
- 運動するきっかけにもなるので、引き続き参加していきたい。
- お友達に誘われてはじめて参加しました。週1回の部活動参加で先生方や先輩に支えてもらい楽しく60mを走っていた娘の姿に感動しました。
- 大会開催して頂きありがとうございます。知的陸連がパラ陸連に統合して情報をとるのが難しくなりました。
- チャレンジすることができてうれしいです。このために練習することとてもいい経験になりました。
- できれば九州で！！
- こういう記録会を開催してくださって、本当にありがたく幸せに思います。初回から参加していますので宮崎県民で良かったとしみじみ思いました(笑)。これからもよろしくお願ひします。
- 地元の大会って感じでした(全国ではないような・・・) ボランティアの方がわかりにくい(特に招集時)会場がキレイでした。
- 走ることが大好きなので、大会参加等で本人のやる気につながり、自信がつくので今後も競技に参加していきます。たくさんの方が声をかけてくださり、コミュニケーションが少しずつ取れていければと思いました。
- 楽しく参加させていただきました。練習の場がほしいですね。
- 本人が楽しかったようで良かったです。大会運営ありがとうございました。
- ダウン症のお友達に会えたことがうれしかったです。
- 初めてダウン症陸上競技会に参加して楽しかったです。同じダウン症の子供をもつ親御さん方と交流できて良かったです。ありがとうございます。良い経験になりました。スタッフの温かさにも感謝です。初めて参加し、良い経験ができました。みなさん楽しそうですね。素晴らしい大会だと思いました。毎年開催されることを希望します。楽しかったです。とても良い経験になりました。本人達が楽しんで参加できてよかった。大変良かったとても楽しく参加できました。また出たいです。このような機会があつて非常に良い。
- 宮崎で開催してほしい。色々お世話になりました。楽しい1日でした。

質問7・9については、アンケート回答の都道府県、回答者について質問(省略)

実行委員アンケート結果

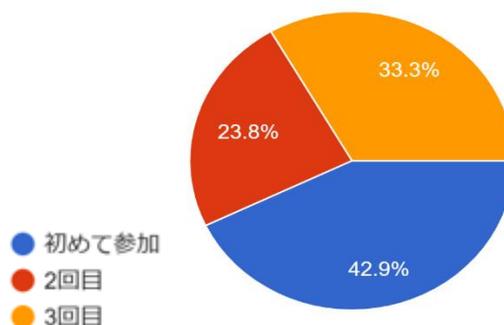
①関係者として参加した回数を教えてください

21件の回答



①関係者として参加した回数を教えてください

21件の回答

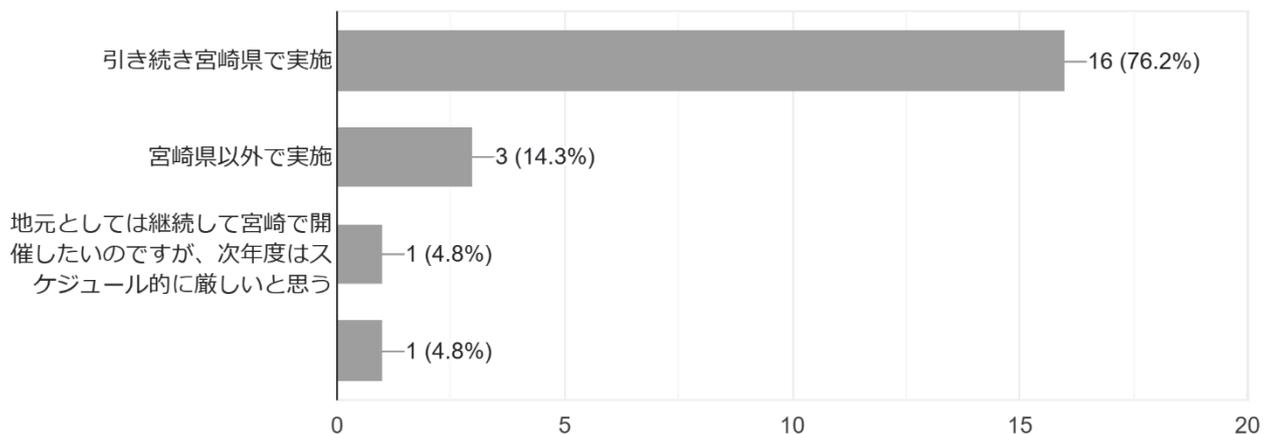


③上記②の回答について、理由を教えてください。(任意) 13 件の回答

- マスターズと合同で開催されており、盛り上がりがあった一方で、プログラムが把握しづらい面がある。
- マスターズと組み合わせることで、競技会として空きがなく、かつダウン症の参加者の皆さんも時間を空けながら競技に参加できるタイムスケジュールで良かったと思います。
- 最後のエンジョイリレーの待ち時間が長かったように思いました。
- どうしてもタイムテーブルが窮屈になって、選手にも審判にも負担が出てしまう。
- 時間通りに進むことができ、測定もスムーズに行うことができました。
- 予定通り終わった。概ね、オンタイムで進んだ。スムーズに進んでいた。
- 初めてなので、要領を得ない面がありましたが、時間配分は適切だと思います。
- 競技を複数出場される方は続けて出るようになった方もいて大変だったのではないかと感じました。
- ダウン症にとっては、進行が早いと感じる面もあるが、待てない人もいると考えると妥当なスケジュール。
- 午後早めに終わるのが良い。選手に対して無理がない

④来年も継続して実施したいと考えておりますが...る場合はその他に希望する県をご記入ください)

21 件の回答



⑤本記録会の運営などについて、お気づきの点、ご要望などがありましたらご記入ください。

16 件の回答

【競技運営】

- 3 回目にしても尚タイムスケジュールの組み方など、まだまだ工夫が必要な事を痛感しました。
- 競技の前に、招集テントでの受付(コール)が必要なことが認識されていないため、周知する形を整えることが必要だと感じました。
- 大会当日朝の関係者受付方法が分かりにくかったと思いました。初めて関係者として参加される方達で、けっこう戸惑ってる方達が多く感じました。
- ダウン症だけでの大会ではない為、当日の役員や協力員、補助員等の動きについて打ち合わせが必要。

【ルール】

- 陸上競技大会のルール、招集(コール)というシステムがあることを選手や保護者、学校やパラスポーツ指導者協議会等の参加者に周知できると良いのではないかと感じました。
- 陸上競技に馴染みのない方や初めて参加する方は時間までに余裕を持って招集場所に行くことなど少し戸惑ったのではないかと感じました。出場種目ごとにコールがいることも。
- 招集場所について、トラック競技はコール後に招集場所で待つため問題ないのですが、砲丸投やジャベリック

などの競技場が招集場所と反対側だった為、行き来が大変だったと思います。コールした後に競技場に各自で直接行って良かったのであれば、砲丸投などの招集場所が競技する場所の近くにあると選手への負担も少なく、招集の分かりやすさもあるのではないかと感じました。

【ルール招集】

- ダウン症アスリート測定会をした際、待機場所にさせていただいたことで、すごく進みやすかった。引き続き待機場所などの配慮を。
- また、招集時間の声かけを待っている方もいたので、招集時間前の声かけは必要だと感じました。
- 選手や保護者の方には何回も行き来させてしまった方もいたので、スタッフ側が招集から競技までの流れをきちんと把握することでより円滑な運営に繋がるのではないかと感じました。
- トラック競技では、選手が名前と呼ばれる時に選手の番号も一緒に言っていただくと、選手を探しやすかったです。

【運営】

- 次回の大会からは、各団体等での受付を行ったほうがスムーズな進行ができるように感じました。
- 宮崎以外の先生方 関係者に見て頂きたと思いました。
- 良い方法があれば 研修やってくれないかなあー。
- 昨年に比べコンパクトな競技場だったので移動が楽でよかった。
- クラウドファンディングでの運営費用集めや、支援団体にもアピールしていけるといいと思います。
- 余裕があれば前日の練習会を開催してもいいと思います。
- メディカルの体制をもう少し前から、しっかりと整えていきたい。
- 大会の流れが周りに周知できてなかった。
- それぞれでやってるので 司令塔がなく、統制とれず どこに伝え、どこに相談すれば良いのかわからない
- 前日設営で多くの方が携わってくださいました。人徳が人の心を動かしていると間近で実感しました。日本記録も6つ更新され素晴らしい記録会だったと思います。二日間お疲れ様でした。有難うございました
- 今回はありがとうございました。お疲れ様でした。運営いただいたスタッフの皆様へ感謝です。ありがとうございました。ぜひ、宮崎で続けて開催してほしいと思いますが、宮崎でなくてもいいので、パラスポーツ協会の皆さん、スポーツ協会の皆さん、継続して開催できるよう、経済的なサポートや、運営サポートをお願いしたいです。実施させていただきありがとうございました。来年も是非よろしく願いいたします。怪我や事故が無く無事終えたことは良かったです。貴重な経験になりました。ありがとうございました。今大会、本当にお疲れさまでした。また次回の大会等も協力させていただきます。
- 参加された方は、みんなこのような会があることを望んでいます。続けていくことで救われる方が増えていくと思います。一部の方に負担がかかり過ぎないで、続けられるといいですね。ご家族から、感謝の言葉をたくさん聞きました。



【ダウン症】増田明美さんに今年も会えました！世界大会出場選手と一緒にウォーミングアップして100m走りました！



ダウン症なな...
チャンネル登録...

チャンネル登録

👍 42



共有



933 回視聴 2023/10/06 #ダウン症 #陸上競技 #陸上100m

今年も全国ダウン症アスリート陸上競技記録会が宮崎（日南市）で行われました。日本パラ陸上連盟会長の増田明美さんも来られて、楽しいMCをされて和やかな競技会でした。

